

令和2年度
教育委員会事務の点検・評価報告書
(点検・評価実施年度：令和3年度)

令和3年10月

豊川市教育委員会

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	基本目標と施策別取組の自己評価	3
III	評価シート	8
IV	目標指標の状況	27
V	参考資料	
1	教育委員会会議	31
2	第2期豊川市教育振興基本計画（概要版）	34

I 点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、豊川市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、より効果的な教育行政の推進を目指すとともに、その結果を公表し、市民の皆様への説明責任を果たすことを目的とするものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の方法

平成29年3月に策定した「第2期豊川市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に掲げる取組について、教育委員会において点検・評価（自己評価）を行いました。併せて、豊川市教育行政事務点検評価委員会を開催し、令和2年度に実施した事業の中から選定した19事業について、学識経験者の方から評価や意見をいただきました。

（1）点検評価委員会委員名簿（敬称略）

氏 名	役 職 等
小 林 康 典	元豊川高等学校長
梅 村 賀 代 子	元市民と行政の協働推進委員
村 松 あ さ 子	元公立小学校長

（2）点検評価委員会の開催状況

第1回 令和3年8月6日（金）

議題

① 令和2年度豊川市教育委員会事務点検・評価報告書について

第2回 令和3年9月24日（金）

議題

① 点検評価委員の評価及び意見等（案）について

(3) 点検評価委員会設置要綱

豊川市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 豊川市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、豊川市教育行政事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を設置する。

(職務)

第2条 点検評価委員会は、毎年、次に掲げる事項について点検するとともに、その成果及び課題を整理して、教育委員会に報告するものとする。

(1) 教育委員会の基本方針として年度毎に定めた主要施策に関すること。

(2) 前号に掲げる事項のほか、教育委員会の諸施策や事務事業に関すること。

(組織)

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱した日の属する年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 点検評価委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 点検評価委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 点検評価委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会庶務課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年 1月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。

II 基本目標と施策別取組の自己評価

○自己評価一覧の見方

計画に掲げる施策別の主な取組について、教育委員会における自己評価（評価対象年度における単年度評価）及び今後の方向性を、四つの基本目標ごとにまとめたものです。この主な取組のうち、事務局が選定した19事業について学識経験者の方から評価や意見等をいただきました（「III 評価シート」参照）。

基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

自分と他者を大切にする豊かな人間性を備え、やさしさに満ちた人を育成するためには、家庭や地域、学校、行政が一体となって、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育む教育が必要です。

- 地域との連携による家庭教育や子育てを支援します。
- 社会のルールを守り、互いを尊重し合う道徳心や人権意識を育みます。
- 様々な価値観や知識を学ぶ体験活動や読書活動を推進します。
- 命を支える子どもの体づくりを推進します。
- 先人の心を受け継ぐ歴史・文化の伝承と新たな文化の創造に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	自己評価	今後の方向性	シートNo.
① 家庭教育・子育ての支援	家庭教育活動の支援	生涯学習課	C	継続	
	親子参加の講座などの充実	生涯学習課	C	継続	

計画に位置付けた施策別の主な取組です

下記(1)(2)(3)参照

(1) 自己評価について

評価シート表現	取組一覧表現
期待を上回る成果を上げた	A
期待通りの成果を上げた	B
概ね期待通りの成果を上げた	C
あまり成果を上げられなかった	D
成果を上げられなかった	E

※事業が未実施であった取組については「-」としています。

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自己評価を「D」「E」「-」とした事業については、表記に「(コ)」と追記しています。

(2) 今後の方向性について

次年度以降の事業の方向性について、拡充、継続、見直し、廃止、完了のうちから記載しています（評価シート、取組一覧共通の表現です）。

(3) シートNo.について

学識経験者の方から評価や意見等をいただいた取組についての評価シートNo.です。

基本目標 1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

自分と他者を大切にする豊かな人間性を備え、やさしさに満ちた人を育成するためには、家庭や地域、学校、行政が一体となって、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育む教育が必要です。

- 地域との連携による家庭教育や子育てを支援します。
- 社会のルールを守り、互いを尊重し合う道徳心や人権意識を育みます。
- 様々な価値観や知識を学ぶ体験活動や読書活動を推進します。
- 命を支える子どもの体づくりを推進します。
- 先人の心を受け継ぐ歴史・文化の伝承と新たな文化の創造に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	自己評価	今後の方向性	シート No.
① 家庭教育・子育ての支援	家庭教育活動の支援	生涯学習課	C	継続	
	親子参加の講座などの充実	生涯学習課	C	継続	
	幼児教育研究会の開催	学校教育課	D (コ)	継続	
② 道徳教育の充実	心の教育活動の推進	学校教育課	B	継続	
	体験活動を通じた道徳性の育成	学校教育課	B	継続	
③ 人権教育の推進	豊川市小中学校人権教育研究会の充実	学校教育課	B	継続	
	発達段階に応じた人権教育の実施	学校教育課	B	継続	
	人権に関する講座・研修会への教職員の参加	学校教育課	B	継続	
④ いじめ・不登校などへの対応	早期発見・早期対応に向けた取組の推進	学校教育課	B	継続	
	豊川市不登校対策委員会の取組の強化	学校教育課	B	継続	
	臨床心理士などによる教育相談の充実	学校教育課	C	継続	1
	適応指導教室「さくらんぼ」における支援	学校教育課	B	継続	
⑤ 学校における体験活動の充実	異年齢との交流活動の実施	学校教育課	B	継続	
	思春期における体験活動の実施	学校教育課	B	継続	
	文化的行事の実施	学校教育課	B	継続	
⑥ 読書活動の推進	朝の読書活動の実施	学校教育課	B	継続	
	学校図書館巡回司書の配置	学校教育課	B	継続	
	「マイブックプロジェクト」の推進	中央図書館	B	継続	2
	子ども読書活動の推進	中央図書館	C	継続	
	「うち読」の普及・啓発の推進	中央図書館	B	継続	
⑦ 子どもの体づくりの推進	学校体育の充実	学校教育課	B	継続	
	地域における子どものスポーツ活動への支援	スポーツ課・生涯学習課	D (コ)	継続	3
	生活習慣病予防の推進	学校教育課	B	継続	
	食に関する指導の充実	学校給食課・学校教育課	C	継続	4
⑧ 文化遺産の継承と新たな文化の創造	文化遺産の保護・活用の環境づくり	生涯学習課	B	継続	5
	文化遺産継承の取組の推進	生涯学習課	B	継続	
	ふるさと意識の醸成	生涯学習課	B	継続	
	平和学習の推進	生涯学習課	B	継続	

基本目標 2 社会の変化に応える確かな学力を育成します

新たなことや困難なことに粘り強く挑戦する人を育成するためには、子どもたちが社会の変化に対応しながら、自分の成長を支えていけるような確かな学力を育成する教育が重要です。

- 児童生徒が楽しくわかる授業を実践します。
- 社会のニーズに対応した学習活動を推進します。
- 日本語指導が必要な児童生徒や配慮が必要な児童生徒への教育を充実します。
- 児童生徒の進路に関する指導を充実します。
- 教職員のさらなる資質の向上に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	自己評価	今後の方向性	シート No.
① 楽しくわかる授業の実践	授業研究の推進	学校教育課	B	継続	
	きめ細かな指導の推進	学校教育課	B	継続	
	地域住民や学生との協働による学習支援	学校教育課	B	継続	
② 英語教育の推進	英語指導助手の配置	学校教育課	B	継続	
	英語力向上へ向けた活動の充実	学校教育課	C	継続	
③ 理数教育の推進	理数教科への関心を高める授業の実施	学校教育課	B	継続	
	理科教育支援員の配置	学校教育課	B	継続	
	子どもものづくり教室の実施	生涯学習課	C	継続	
④ 情報教育の充実	I C T機器を活用した授業の充実	学校教育課	B	拡充	6
	デジタル教科書・教材を活用した授業の実施	学校教育課	B	継続	
	情報モラル教育の推進	生涯学習課・学校教育課	B	継続	
⑤ 環境教育・E S Dの推進	地域の環境を守る環境学習	学校教育課	B	継続	
	E S Dの視点に立つ学習活動の推進	学校教育課	B	継続	
⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実	拠点校における日本語教育の実施	学校教育課	B	継続	
	日本語指導助手の配置	学校教育課	B	継続	
⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実	就学指導・相談体制の整備	学校教育課	B	継続	
	校内委員会などの機能の充実	学校教育課	B	継続	
	特別支援教育に関する研修会の充実	学校教育課	—(コ)	継続	
	特別支援教育支援員の配置	学校教育課	B	継続	
	学級運営支援員の配置	学校教育課	B	拡充	7
⑧ 進路指導の充実	就学援助の実施	学校教育課	C	拡充	
	小学校からのキャリア教育の実施	学校教育課	C	継続	
⑨ 教職員のさらなる資質の向上	働くことの意義を体感する職場体験学習の実施	学校教育課	B	継続	
	教職員研修の充実	学校教育課	C	継続	
	教職員国内研修派遣の実施	学校教育課	C	継続	

基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します

生涯にわたって学び続ける人を育成するためには、人々が豊かな人生を自ら築こうとする生涯学習社会を確立していくことが重要です。

- 市民の主体的な生涯学習活動を支援します。
- 生涯の健康を支える力の育成に取り組みます。
- 多くの人がスポーツを楽しめる機会を充実します。
- 人々の読書活動を支える図書館サービスを充実します。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	自己評価	今後の方向性	シートNo.
① 生涯学習の振興	とよかわオープンカレッジの育成・支援	生涯学習課	C	継続	
	地域生涯学習の推進	生涯学習課	C	継続	8
	生涯学習情報の整理と発信	生涯学習課	C	継続	
	学習成果の発表の場の充実	生涯学習課	C	継続	
	社会教育関係団体支援を通じた人材育成	生涯学習課	C	継続	
	ジオスペース館を活用した学習支援	中央図書館	C	拡充	
	地域情報の収集・活用	中央図書館	B	継続	
② 生涯の健康を支える力の育成	地域とつながる食育の推進	学校給食課	C	継続	9
	喫煙・飲酒・薬物乱用の防止	学校教育課	B	継続	
③ 生涯スポーツの振興	地域スポーツの推進	スポーツ課	D(コ)	継続	10
	スポーツイベントの開催支援	スポーツ課	-(コ)	継続	
	スポーツ選手・団体への活動支援	スポーツ課	D(コ)	継続	
	トップレベルに触れる機会の充実	スポーツ課	D(コ)	継続	11
④ 図書館サービスの充実	図書館資料の充実	中央図書館	B	継続	
	電子図書館サービスの充実	中央図書館	A	継続	12
	「図書館検定」の実施	中央図書館	B	継続	

基本目標 4 魅力ある教育環境づくりを進めます

本市が目指す人づくりを実現していくためには、人々の学びの場である家庭や地域、学校などの教育環境が、魅力ある最良の状態にあることが望まれます。

- 学校教育における安全・安心の確保に取り組みます。
- 地域に開かれた学校づくりや学校教育環境の充実に取り組みます。
- 子どもや若者を育む地域の教育力の向上支援に取り組みます。
- スポーツや生涯学習、読書に親しめる環境の整備、充実に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	自己評価	今後の方向性	シート No.
① 児童生徒の安全・安心の確保	防災教育の推進	学校教育課	B	継続	
	交通安全教育の推進	学校教育課	B	継続	
	学校安全緊急情報共有化広域ネットワークの活用	学校教育課	B	継続	
	学校施設における飛散防止フィルム貼付	庶務課	B	完了	
	防犯・防災設備の充実	庶務課	C	継続	1 3
	安全・安心な学校給食の提供	学校給食課	B	継続	
	学校給食施設の整備・改修	学校給食課	B	継続	1 4
② 開かれた学校づくりを目指す教育活動	特色ある学校づくりの推進	学校教育課	B	継続	
	学校の日の開催	学校教育課	-(コ)	完了	
	学校からの情報発信	学校教育課	B	継続	
	学校サポーターによる学校支援	庶務課	B	継続	
	学校評価の公表	学校教育課	B	継続	
	部活動の外部講師の活用	学校教育課	B	継続	
③ 学校教育環境の整備	老朽校舎などの計画的な整備	庶務課	B	継続	
	学習環境の整備	庶務課	B	継続	1 5
	小学校遊具の整備	庶務課	B	完了	
	学校運営における情報機器の活用	庶務課	B	継続	
	教育用 I C T 機器などの整備	庶務課	B	継続	1 6
	学校図書の実	庶務課	B	継続	
④ 地域教育力の向上支援	子どもセンター事業の推進	生涯学習課	C	継続	
	青少年健全育成活動の支援	生涯学習課	C	継続	
	子ども・若者への各種支援	生涯学習課	C	継続	
	学校給食における家庭・地域との連携	学校給食課	-(コ)	継続	
⑤ スポーツ環境の整備	体育施設の整備	スポーツ課	B	継続	1 7
	体育施設の適正な管理運営	スポーツ課	B	継続	
	学校体育施設の開放推進	スポーツ課	D(コ)	継続	
⑥ 生涯学習環境の整備	生涯学習施設の活用	生涯学習課	B	継続	1 8
	高等教育機関との連携	生涯学習課	C	継続	
⑦ 読書環境の充実	図書館と学校などとの連携強化の推進	中央図書館	B	継続	
	図書館施設などの整備	中央図書館	B	拡充	1 9

シートNo.1 【担当：学校教育課】

事業名	臨床心理士などによる教育相談の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	臨床心理士が、心理教育相談室「ゆずりは」において教育相談にあたるとともに、小中学校や保育園への巡回指導などを行う。小学校に「ハートフル相談員」を巡回させ、相談活動の充実に取り組む。											
実施状況及び成果	<p>・心理教育相談事業（実） いじめ、不登校、学級不適応等を抱えた児童生徒・未就学児（年中児以上）及びその保護者、教職員の相談に応じるとともに小中学校巡回指導の充実を図った。また、発達障害のある児童生徒に対して保護者や教職員がどう対応していくかなど、多様化する相談に専門的な立場からのアドバイスを行った。 相談対象者は、豊川市在住の未就学児（年中・年長）、小中学生、保護者、教職員としている。児童生徒への対応などについては教職員のみ相談も受けている。相談者との面談を通して、少しでも本人の成長を促したり自分で考える力を身につけたりできるよう指導に生かすことができた。 緊急事態宣言中の施設閉館にともない心理教育相談室「ゆずりは」を休室（4月13日～5月24日）した影響で、相談件数は減少している。休室期間、「新型コロナウイルス感染症拡大の今、知っておいてほしい心の話①②③（大人向け）」「新型コロナウイルス感染症拡大のいま、知っておいてほしいこころのはなし①②③（子ども向け）」を作成し、豊川市 HP 学習応援サイト（心の健康）に公開した。学校再開時には子どもの状況をみて早期発見・早期対応できるよう「学校再開時の子どもの様子について」をまとめ、各校に送付した。 また、不登校対策委員会夏季研修会にて「いま、知っておいてほしいこころのはなし」、中学校ブロック別研修会で「存在から子どもをみる～LGBTに関する理解～」という演題で講演を行った。 平成26年度から開始した臨床心理士による各小学校、保育園への巡回指導は、学校や保育園の要望に沿う対応となっている。臨時休業中は巡回指導ができなかったが、学校再開後、巡回指導の依頼が増え、例年より件数が増えた。（116件）</p> <p>【臨床心理士の人数】 平成30年度：5人 令和元年度：5人 令和2年度：5人</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1" data-bbox="300 1077 1094 1160"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆずりは相談件数</td> <td>2,163件</td> <td>2,024件</td> <td>1,708件</td> </tr> </tbody> </table>					H30	R1	R2	ゆずりは相談件数	2,163件	2,024件	1,708件
	H30	R1	R2									
ゆずりは相談件数	2,163件	2,024件	1,708件									
決算額	平成30年度 21,667千円	平成元年度 21,259千円	令和2年度 23,639千円									
自己評価	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> コロナ禍において子どもたちや学校の状況に合わせた働きかけを行うことができた。相談室再開後は、相談者の気持ちに寄り添いながら、教育相談活動をすすめることができた。相談内容や児童生徒の様子から、相談者と相談しながら関係機関と連携をすることができた。 新型コロナウイルス感染症そのものの相談よりも、その影響を受けたと思われる相談内容が多く、多岐にわたり、また複雑化している。相談は継続相談がほとんどである。新規での相談希望があっても面談希望日が限定されると1か月以上待ってもらったケースがあった。 </td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	コロナ禍において子どもたちや学校の状況に合わせた働きかけを行うことができた。相談室再開後は、相談者の気持ちに寄り添いながら、教育相談活動をすすめることができた。相談内容や児童生徒の様子から、相談者と相談しながら関係機関と連携をすることができた。 新型コロナウイルス感染症そのものの相談よりも、その影響を受けたと思われる相談内容が多く、多岐にわたり、また複雑化している。相談は継続相談がほとんどである。新規での相談希望があっても面談希望日が限定されると1か月以上待ってもらったケースがあった。						
<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	コロナ禍において子どもたちや学校の状況に合わせた働きかけを行うことができた。相談室再開後は、相談者の気持ちに寄り添いながら、教育相談活動をすすめることができた。相談内容や児童生徒の様子から、相談者と相談しながら関係機関と連携をすることができた。 新型コロナウイルス感染症そのものの相談よりも、その影響を受けたと思われる相談内容が多く、多岐にわたり、また複雑化している。相談は継続相談がほとんどである。新規での相談希望があっても面談希望日が限定されると1か月以上待ってもらったケースがあった。											
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	情報の共有、支援方法の共通理解など、引き続き、学校、保育園、医療機関、保健所、子育て支援課、東三河児童障害者相談センター等との連携を一層強めていく。 登校支援事業で行う研修会などで、臨床心理士による講演や事例検討会を行い、コロナ禍でもあるため開催方法を工夫しながら、教職員の力量向上に役立てていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 引き続き、各関係機関と連携しながら相談に対応していただくとともに、相談内容が複雑化していることから、臨床心理士の人数の増員も検討していただきたい。									
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	各関係機関と情報の共有・支援方法の共通理解等、相談者に寄り添った対応をされている中、新型コロナウイルスを受けて急遽「ゆずりは」が休室となった際にホームページ上で様々な情報発信を行うなど努力された点を評価する。 コロナ禍においては、将来に対する保護者の不安は一層深刻であろうから、今まで以上に連携、情報共有、共通理解に努めていただきたい。臨床心理士の増員は必須であると考えている。										

シートNo.2【担当：中央図書館】

事業名	「マイブックプロジェクト」の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
内容	市内の中学校2年生の生徒が自ら書店で本を選び購入を体験する「マイブックプロジェクト」を実施し、体験を通じた読書意欲の向上による子ども読書活動の推進に取り組む。																						
実施状況及び成果	<p>本市中学2年生に市内の協力書店で使える一定金額の図書購入券を配布し、各生徒が読みたいと思う本を自ら書店で購入してもらい、購入した生徒が読み終えた本は、紹介メッセージを付けて級友や他のクラスの生徒へ、次年度には他の学年の生徒へとバトンを渡すように次々に読者を増やすことで、読書の楽しさを体験してもらい、生徒の読書意欲の向上につなげることができた。</p> <p>コロナ禍での事業実施であったが参加率に変動はなく、事業実施後の参加生徒へのアンケートでは、「自分で本を選んで購入したのは良い経験になった。」と答えた生徒が70%近くいたほか、「いろいろな人の選んだ本が読めて今まで以上に本が好きになった。」という意見もあり、読書が好きになったと答えた生徒が半数近くにのぼった。また担任からは、コロナ禍ということもありクラスでの回し読みの代わりに本の紹介文を書き、本を紹介するスピーチをする授業を行い、クラスメイトの選んだ本に興味を持ち、友達同士で貸し借りをし読みあう姿が見られたという意見があった。</p> <p>【マイブックプロジェクト参加生徒：市内中学2年生】</p> <table border="1" data-bbox="320 831 1350 1041"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数(対象)</td> <td>1,725人</td> <td>1,638人</td> <td>1,775人</td> </tr> <tr> <td>購入者</td> <td>1,651人</td> <td>1,580人</td> <td>1,712人</td> </tr> <tr> <td>購入額</td> <td>1,864,566円</td> <td>1,730,037円</td> <td>1,915,799円</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>95.7%</td> <td>96.5%</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>				H30	R1	R2	生徒数(対象)	1,725人	1,638人	1,775人	購入者	1,651人	1,580人	1,712人	購入額	1,864,566円	1,730,037円	1,915,799円	参加率	95.7%	96.5%	96.5%
	H30	R1	R2																				
生徒数(対象)	1,725人	1,638人	1,775人																				
購入者	1,651人	1,580人	1,712人																				
購入額	1,864,566円	1,730,037円	1,915,799円																				
参加率	95.7%	96.5%	96.5%																				
決算額	平成30年度 1,865千円	令和元年度 1,731千円	令和2年度 1,916千円																				
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	事業実施後のアンケートで、「この事業により、読書に対する生徒の意識に変化はあったか」という質問に対し、「『朝の読書』を嫌っていた生徒が、興味のある本を見つけ、進んで読書するようになった。」「友達の選んだ本が気になる生徒が多く、自分以外の本も読んでいた。」「普段集中して読書したり勉強したりするのが苦手な生徒も、自分で買った本は集中して読めていた。」などの意見が多く見られ、生徒の読書意欲の向上に結びつけることができた。																					
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	参加生徒へのアンケートに「自分で本を選んで購入したのは良い経験になった。」との意見もあるように、自ら書店へ足を運ぶという行動を促す効果が見られるため、今後も継続できるよう関係部局と協議を行う。 生徒や学校、協力書店からのアンケート等を参考に、関係機関と連携し、事業内容等の検討を行う。	<前年度における点検評価委員の意見等> 中学2年生ともなれば、読書の関心の高さは二極化してしまう時期だと思われるが、「マイブックプロジェクト」への参加率は年々上がっており、このプロジェクトを機に本に興味・関心を持った生徒も多いのではないかと。																				
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	生徒の能動的な取り組みが、読書志向のみならず、自らの興味関心の有り様への気づきに繋がっていると考え、高く評価する。本から学ぶことは実に多く、子どもたちも豊川市が自分たちを大切に育てようとしていると感じるのではないかとと思われる。「マイブックプロジェクト」への参加者数増加やアンケートの結果からも読書に対する興味、関心がうかがえることから、今後も継続して事業を進めていただき、学校図書室や図書館での利用増につながっていく事を望む。																					

シートNo.3【担当：スポーツ課、生涯学習課】

事業名	地域における子どものスポーツ活動への支援 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	地域のスポーツ少年団、放課後子ども教室などにおけるスポーツ活動を支援する。														
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ少年団には市スポーツ協会を通じた支援を行った。 <p>スポーツ少年団 加盟団体数：35 団体 団員数：760 人 指導者数：118 人 運動適性テスト、交流大会等は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止 【決算額】 H30 630 千円 R1 630 千円 R2 331 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室において、剣道や卓球など各種スポーツに親しむ教室を開催した。 <p>【放課後子ども教室（スポーツ系）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室数</td> <td>20 教室</td> <td>19 教室</td> <td>14 教室</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>434 人</td> <td>425 人</td> <td>234 人</td> </tr> </tbody> </table>				H30	R1	R2	教室数	20 教室	19 教室	14 教室	参加者数	434 人	425 人	234 人
	H30	R1	R2												
教室数	20 教室	19 教室	14 教室												
参加者数	434 人	425 人	234 人												
決算額	平成30年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円	令和2年度 上記のとおり 千円												
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった														
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了														
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善														

シートNo.5 【担当：生涯学習課】

事業名	文化遺産の保護・活用の環境づくり ■ 総合計画実施計画事業 □ その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	三河国分寺跡や御油のマツ並木を保護するための土地公有化などを進めるとともに、大橋屋（旧旅籠鯉屋）の利活用を図る。		
実施状況及び成果	<p>文化遺産の保存整備・保護事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三河国分寺跡土地買上事業（実） 令和2年度は、史跡内の用地取得の事業実施はなし。 令和3年度の用地取得に向けて地権者との合意が得られた。 （個人所有地3筆 290.99㎡を取得予定） 【決算額】 H30 137,396千円 R1 78,907千円 R2 事業実施なし ・御油松並木保存整備事業（実） 令和4年度の用地取得に向けて地権者との合意が得られた。 ・大橋屋（旧旅籠鯉屋）の入館者数 R1 13,613人 R2 4,709人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策による外出自粛を受けて減少した。 		
決算額	平成30年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円	令和2年度 上記のとおり 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	三河国分寺跡土地買上事業の事業実施はなかったが、令和3年度用地取得に向けた地権者との交渉において合意が得られた。史跡の公有化率は89.1%（令和3年度取得後の公有化率は89.8%の予定）。	
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	三河国分寺跡土地買上事業は、公有化完了を目指し未買収地の公有地化を図る。御油松並木保存整備事業も、保存区域の地権者と公有地化の協議を進める。大橋屋の利活用は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に配慮しながら、地元と協働で事業を行っていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 各地区に残る伝統芸能の普及、推進を図るなど、文化遺産を継承するための様々な取組や支援が行われていることを評価する。今後も伝統芸能が次世代に受け継がれていくよう支援を続けていただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	三河国分寺跡、マツ並木等の文化遺産の保護・活用の推進を着々に行っていることを評価する。今後も継続して、地域の方々の理解と協力を得ながら、各地区の伝統芸能が次世代に受け継がれるような支援を期待するが、コロナ禍により各地区の伝統文化活動がどれほどの影響を受けているのかという実態調査も必要ではないかと考える。	

シートNo.6 【担当：学校教育課】

事業名	ICT機器を活用した授業の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	より良いICT環境づくりのための整備を推し進め、情報教育に関する教職員の研修や実践交流を行い、指導力の向上に努めるとともに、ICT機器を活用した授業の充実に取り組む。		
実施状況及び成果	・ICT教育支援員配置事業（実） 小学校26校を巡回し、ICT活用に関する研修会やプログラミング教育に関する示範授業を実施し、各校で教員の指導力向上を図った。また夏期実技研修会でICT機器を授業で活用するための講座で講師を務めたり、情報教育主任会で実践事例を紹介・助言するなど、指導力の向上に努めることができた。 また、タブレット端末を先行的に導入した東部小学校、一宮南部小学校において、いろいろな教科・内容の実践例を集め、各学校で参考となるようにファイルサーバーに蓄積した。 3学期より、一人一台端末の実現に向けて、校内無線LANの整備、端末の設置並びに整備を進めた。		
決算額	平成30年度 *****千円	令和元年度 2,645千円	令和2年度 3,106千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	情報教育に関する教職員の研修や実践交流により、授業におけるICT機器の活用を促すことができた。特に、プログラミング教育をどの小学校でも実施することができた。 コンピュータ教材の活用を促進し、児童生徒の理解を促すことができた。	
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	令和3年度、全小中学校に学習者用端末が整備されることにともない、すべての児童生徒及び教員のICT活用力の向上を図ることができるように、令和3年度よりICT教育支援員を中学校区に1名ずつ配置できるように準備する。ICT教育支援員が中学校区内の小中学校を週1・2回程度巡回し、授業支援、保守管理サポート、教員研修等を実施する。	<前年度における点検評価委員の意見等> 今後もICT機器を活用した授業のさらなる充実が求められる。機器の有効活用を更に図るべく、ICT教育支援員の充実と教職員の指導力向上のための研修に努めていきたい。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	モデル校における実践、プログラミング教育の実施や情報共有等が積極的に取り組まれ、合わせて学習用タブレット端末の全校整備が着実に進められている点を評価する。今後は、さらなる情報教育充実のため、教職員のICTを活用した授業力向上を目指していただきたい。ICT教育支援員増員など、サポート体制の充実は必須であると考え。	

シートNo.7 【担当：学校教育課】

事業名	学級運営支援員の配置 ■ 総合計画実施計画事業 □ その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続														
内容	個別の支援を必要とする児童生徒がいる学級へ学級運営支援員を配置し、個別的な指導やチームティーチング指導を実施する。																
実施状況及び成果	<p>・学級運営支援事業（実） 教員免許を有する「学級支援員」と、教員免許を有しない補助的支援員である「個別支援員」に分けて任用し、学級や児童生徒の状況に応じた柔軟な支援体制を整えている。 「学級支援員」はチームティーチングや少人数指導等の授業法の工夫によって学習成果を期待する学級に配置し、「個別支援員」は児童生徒の落ち着きが必要な学級に対し長期的に配置した。 令和2年度は、174学級から申請があり、79学級に配置を行った。</p> <p>【学級運営支援員の配置人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">学級運営支援員合計</th> <th colspan="2">内 訳</th> </tr> <tr> <th>学級支援員</th> <th>個別支援員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>74人</td> <td>5人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>79人</td> <td>5人</td> <td>74人</td> </tr> </tbody> </table>				学級運営支援員合計	内 訳		学級支援員	個別支援員	R1	74人	5人	69人	R2	79人	5人	74人
	学級運営支援員合計	内 訳															
		学級支援員	個別支援員														
R1	74人	5人	69人														
R2	79人	5人	74人														
決算額	平成30年度 50,334千円	令和元年度 54,300千円	令和2年度 61,909千円														
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	<p>学級運営支援員の配置により、対象児童の学習支援の充実に加え、学級全体が落ち着き、他の児童生徒の学習環境の改善につながった。 4月、5月は新型コロナウイルス感染症対策として臨時休業であったが、従来の6・9月の配置だけでなく、年度当初から各小学校1名ずつの個別支援員を配置したため、学級運営を円滑にすすめることができている。</p>															
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>発達障害を疑われる児童生徒、診断された児童生徒が通常学級に在籍することが増加しており、学校からの配置希望が多い状態が続いている。きめ細かな指導により、学校生活を安心・安全に送ることができるよう、人的支援を整えて行く。 今後も4月から必要に応じて小中学校に複数配置することで、新学期からより円滑に学級運営できるようにする。</p> <p><前年度における点検評価委員の意見等> 学級の実情に即して柔軟な支援体制が整えられている点を高く評価する。4月から支援員を配置することは、新学期から学級運営が円滑にスタートでき、子どもたちの学習意欲も高まると考える。しかし、配置学級を前学年末時点で決めなくてはならず、特に1年生は4月からの配置が難しいため、余裕を持って支援員を確保することも大切である。引き続き支援員の増員をお願いしたい。</p>															
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>個別支援を必要とする児童生徒数が年々増加する中で、支援員の増員や年度当初からの配置等により、学級全体が安心・安全、円滑に運営できるように努めている点は評価する。今後も継続して、支援が必要な児童生徒が戸惑うことなく、学校生活を送ることができるような支援をいただきたい。合わせて、コロナ禍を受けた保護者等の価値観変容を踏まえ、幼保小中の連携をさらに深めていただきたい。</p>															

シートNo.8 【担当：生涯学習課】

事業名	地域生涯学習の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	地区市民館や公民館、生涯学習会館といった身近な施設で展開する地域生涯学習講座において、各地域に根ざした特色ある講座や防災、子育て、介護などの地域課題に関する講座を開催する。										
実施状況及び成果	・地域生涯学習事業（実） 38人の生涯学習推進員を委嘱し、公民館・地区市民館・生涯学習会館といった身近な施設で行った。新型コロナウイルス感染拡大防止により中止した講座もあるが、地域の特色を生かした講座や親子を対象とした講座を、地域生涯学習講座として開催した。 東三河連携講座を開催するなど、行政と市民との連携だけでなく、近隣市町との連携による学習の場づくりにも努めた。										
	【受講者数】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> </tr> <tr> <td>地域生涯学習講座</td> <td>5,382人</td> <td>5,574人</td> <td>2,370人</td> </tr> </table>				H30	R 1	R 2	地域生涯学習講座	5,382人	5,574人	2,370人
	H30	R 1	R 2								
地域生涯学習講座	5,382人	5,574人	2,370人								
決算額	平成30年度 3,568千円	令和元年度 3,589千円	令和2年度 2,567千円								
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期開催予定であった講座の多くが中止となったが、その後は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、地域の特色を活かした講座、男性や親子を対象とする講座、企業連携講座を開催することができ、地域の伝統文化の継承にも寄与することができた。									
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後も地域ごとに魅力ある講座開催を心掛け、地域の再発見、伝統文化の継承、子育て、などの地域課題への対応と地域コミュニティの形成に寄与できるように努め、地域教育力の向上を図る。 また、企業連携講座の推進を図り、多様な講座を企画するとともに、生涯学習によるまちづくりを推進する。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 地域の伝統文化等に合った魅力ある講座の充実を期待するとともに、地域の特色の再認識につながる新たな講師やテーマの発掘などに努めていただきたい。また、広報周知に工夫を加えた取組を期待する。								
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	コロナ禍による厳しい環境にありながら、感染防止に配慮しながら着実に講座を開講し、地域における学習する楽しみや意欲向上につながった点は評価する。地域を拠点とした生涯学習の推進は、高齢化がすすむ今だからこそ大切にしていっていただきたいものである。引き続き、各地域の特性やニーズに応えた魅力ある講座を開催していただきたい。									

シートNo.9 【担当：学校給食課】

事業名	地域とつながる食育の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
内容	① 地域の特産品を学校給食に使用する「豊川産〇〇の日」のイベント給食を実施するとともに、農家の方を学校に招いての「生産農家との会食会」など地産地消の推進に関する取組を実施する。 ② 児童生徒の参加による「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の開催を通じて地産地消の理解を深める。																							
実施状況及び成果	<p>「豊川産〇〇の日」は、4、5月の学校休業に伴う給食中止もあり36回（12品目）となった。また、「生産農家との会食会」はコロナ禍での会食となるため中止した。</p> <p>「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」は、試食を伴う第2次審査及び表彰式は中止したが、優秀賞・入選の11作品と特別賞（アイデア賞・グッドネーミング賞）の16作品を表彰するとともに、優秀賞の4作品を1月の全国学校給食週間の献立の中で採用した。</p> <p>【イベント給食「豊川産〇〇の日」】</p> <table border="1" data-bbox="311 672 1184 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>42回</td> <td>36回</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>品目</td> <td>13品目</td> <td>16品目</td> <td>12品目</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度実施品目：ミニトマト・青じそ・グリーンアスパラガス・オクラ・なす・柿・いちご・はくさい・トマト・ブロッコリー・キャベツ・根深ねぎ</p> <p>【学校給食献立コンクール】</p> <table border="1" data-bbox="311 873 1184 945"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募作品数</td> <td>186件</td> <td>408件</td> <td>306件</td> </tr> </tbody> </table>					H30	R1	R2	回数	42回	36回	36回	品目	13品目	16品目	12品目		H30	R1	R2	応募作品数	186件	408件	306件
	H30	R1	R2																					
回数	42回	36回	36回																					
品目	13品目	16品目	12品目																					
	H30	R1	R2																					
応募作品数	186件	408件	306件																					
決算額	平成30年度 37千円	令和元年度 39千円	令和2年度 35千円																					
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	<p>「豊川産〇〇の日」の実施回数は4、5月の給食中止の影響があったが、昨年度並みの回数を実施できた。</p> <p>なお、給食食材のうち豊川産の割合（地産地消率）は、本年度から青果納入業者に対して豊川産農産物納品調査を実施し、調査結果に基づく発注を行ったことで11.56%となり昨年度（10.25%）を上回ることができた。</p> <p>「献立コンクール」は、昨年度の応募数までは届かなかったが、多くの応募をいただいた。また、過去の優秀賞のいくつかは豊川市の定番献立とするなど地元産農産物のPRを図ることができた。</p>																						
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	ひまわり農協との連携により、イベント給食及び生産農家との会食会を実施し、学校給食を通じた地産地消の推進に取り組む。 また、昨年度より実施した豊川産農産物納品調査については継続実施することで納入可能な食材の掘り起こしや確保に努める。	<p><前年度における点検評価委員の意見等></p> <p>地産地消推進に向け、ひまわり農協や地域農家と連携してイベント給食や献立コンクール等に取り組み、積極的に食育を実践されていることを高く評価する。学校給食献立コンクール参加者の大幅な増は、子どもたちの食への関心の高さを示していると思われる。</p>																					
点検評価委員の 評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	イベント給食等様々な取り組みが、豊川産農産物への興味関心、また地産地消への理解につながっている点を評価する。「生産農家との会食会」といった人的交流の場を創出する企画や、「献立コンクール」等子どもたちの意欲が高い事業については、実効性の高いものと評価する。コロナ禍ではあるが、今後も継続して、食育を推進する取組をいただきたい。																						

シートNo.10【担当：スポーツ課】

事業名	地域スポーツの推進 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	地域のスポーツ振興の活動の担い手である校区体育振興会や総合型地域スポーツクラブなどの活動を支援する。														
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの拡充・支援推進事業（実） 総合型地域スポーツクラブに対して補助金を交付するとともに各種活動支援を行った。 【設立済クラブ】 音羽スポーツクラブ 会員数：193人 市補助金額（決算額）100千円 わすぼ一宮 会員数：96人 市補助金額（決算額）100千円 こさかいスポーツクラブ 会員数：80人 市補助金額（決算額）100千円 校区体育振興会助成事業 校区体育振興会に対して助成金を交付するとともに各種活動支援を行った。 校区体育振興会 26校区 市助成金額（決算額）7,949千円 スポーツ指導者育成事業（実） 【ニュースポーツ出前教室】 （決算額）141千円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;">H30</td> <td style="width: 20%;">R1</td> <td style="width: 20%;">R2</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,263人</td> <td>5,657人</td> <td>827人</td> </tr> <tr> <td>講師派遣人数</td> <td>438人</td> <td>495人</td> <td>94人</td> </tr> </table>				H30	R1	R2	参加者数	4,263人	5,657人	827人	講師派遣人数	438人	495人	94人
	H30	R1	R2												
参加者数	4,263人	5,657人	827人												
講師派遣人数	438人	495人	94人												
決算額	平成30年度 9,008千円	令和元年度 9,077千円	令和2年度 8,390千円												
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	地域におけるスポーツ活動に親しむ機会を多くの市民に提供するため、総合型地域スポーツクラブの活動を含め、スポーツ推進委員や校区体育振興会と連携してニュースポーツ出前教室の開催など、補助金や助成金の交付、広報への掲載などの支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、総合型地域スポーツクラブや校区体育振興会の活動回数、ニュースポーツ出前教室の参加者数などが大幅に減少した。													
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	地域に密着したスポーツ活動を支援することで、気軽にスポーツを楽しむことができる機会の確保に努める。 今後も新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実践を継続していくように促す。	<前年度における点検評価委員の意見等> 地域の諸組織と連携を図りながら、積極的に市民スポーツ振興の推進に努力されていることを高く評価する。スポーツの軸が学校から地域へ大きく移行する中、より円滑なスポーツ振興が図られるべく、多くの種目での若手指導者の発掘や育成に力を注いでいただきたい。												
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	コロナ禍により事業規模縮小等あったものの、地域の関連組織と連携し地域に根ざしたスポーツ活動を支援されたことは評価する。ワクチン接種が段階的にすすめられているが、依然として不安定な状況であり、新しい生活様式に沿った対策、工夫の周知に努め、参加意欲の喚起を促すことが必要である。各地域の意識向上、スポーツを楽しめる環境作りの為に継続した支援をお願いしたい。													

シートNo.11 【担当：スポーツ課】

事業名	トップレベルに触れる機会の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	トップレベルの競技者や指導者によるスポーツ教室や講演会などを開催するとともに、競技水準の高い大会や競技会などを誘致・開催する。		
実施状況及び成果	・トップアスリートふれあい交流事業（実） トップアスリートによるスポーツ教室を2教室企画し、開催に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により335人の参加と予定していた教室は急遽中止となった。もう1つの教室は、感染予防対策として人数制限して開催し、子どもを始め多くの市民がスポーツに触れて感動できる機会を提供した。 ・ボウリング教室 令和2年10月18日（日） 45人参加 ・サッカー教室 令和3年1月9日（土） 一人（中止）		
決算額	平成30年度 550千円	令和元年度 750千円	令和2年度 395千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	ボウリング教室は、豊川市出身のプロ選手を含む2名を講師に招き、直接指導や実技披露など、トップレベルの技術や競技への取組姿勢などに触れることで、子どもたちの競技意識の向上やスポーツへの関心を高めることができた。また、マスク着用の徹底や参加人数の制限を行い、感染予防対策を実施して開催することができた。 ただし、サッカー教室にあつては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、成果を上げられなかった。	
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	スポーツ少年団やスポーツ協会加盟団体と連携を取りながら公募による教室開催などを含め、引き続き多くの市民がトップレベルのスポーツに触れる機会の提供に努める。	<前年度における点検評価委員の意見等> 子どもたちが、トップレベルのアスリートに接することは、大きな感動を得ることができ、スポーツに対する意識も変わらと思う。一流アスリートの演技の『美しさ』が子どもたちに与える感動、競技に向かう真摯な姿勢など、この機会から得られるものの価値は図り知れない。引き続き、少しでも多くの種目で実施していただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	トップアスリートとの交流は、子供たちに感動と気づきを与える大切な機会であり、スポーツに関心を持つ子どもたちの増加が期待できる効果的な事業であると考え。コロナ禍により企画が縮小、中止されたことはやむを得ないことだが、残念に思う。今回中止となったサッカー教室の開催も含め、今後も継続して、子どもたちに感動を与える取組を実施していただきたい。	

シートNo.12【担当：中央図書館】

事業名	電子図書館サービスの充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
内容	来館が困難な方を始め、多くの方に利用してもらえるように24時間利用が可能な「電子図書館サービス」を実施し、電子書籍を計画的に購入し、蔵書を充実させるとともに、特集コーナーや新着情報の整備など、利用しやすい管理運営に取り組む。																						
実施状況及び成果	心身の障害その他の事由により図書館への来館が困難な方だけでなく、コロナ禍でニーズの高まる非来館型サービスとして適正な管理運営に努め、令和2年度当初予算分579ライセンス、12月補正予算分3,794ライセンス、合計4,373ライセンスを追加し、ライセンス数を大きく増加させた。また、新たに1,844人が新規利用登録を行ったが、3年間の有効期限の切れた利用者の利用登録の抹消等があり、利用登録者数の総計は減少した。 一括利用登録の申し込みがあった高校からは、今年度も継続して新入生分の登録申込みを得られた。 【電子図書館の状況】 <table border="1" data-bbox="343 734 1158 945"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度末</th> <th>R1年度末</th> <th>R2年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>5,818人</td> <td>7,020人</td> <td>6,444人</td> </tr> <tr> <td>ライセンス数</td> <td>4,679ライセンス</td> <td>5,216ライセンス</td> <td>9,394ライセンス</td> </tr> <tr> <td>うち独自資料数</td> <td>5ライセンス</td> <td>5ライセンス</td> <td>5ライセンス</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>10,793冊</td> <td>12,753冊</td> <td>19,549冊</td> </tr> </tbody> </table> ※ライセンス数は、お役立ち文庫3,010を含まず。				H30年度末	R1年度末	R2年度末	利用登録者数	5,818人	7,020人	6,444人	ライセンス数	4,679ライセンス	5,216ライセンス	9,394ライセンス	うち独自資料数	5ライセンス	5ライセンス	5ライセンス	利用回数	10,793冊	12,753冊	19,549冊
	H30年度末	R1年度末	R2年度末																				
利用登録者数	5,818人	7,020人	6,444人																				
ライセンス数	4,679ライセンス	5,216ライセンス	9,394ライセンス																				
うち独自資料数	5ライセンス	5ライセンス	5ライセンス																				
利用回数	10,793冊	12,753冊	19,549冊																				
決算額	平成30年度 2,247千円	令和元年度 2,259千円	令和2年度 22,193千円																				
自己評価	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input checked="" type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> これまでの電子書籍の貸出傾向等を参考に、新規購入する電子書籍の選書を行った。また、新たに12月補正予算のために蔵書の洗い出しを行い、不足しているジャンルや専門分野の本等、幅広い利用者を想定して選書を行うことができた。 </td> </tr> </table>			<input checked="" type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	これまでの電子書籍の貸出傾向等を参考に、新規購入する電子書籍の選書を行った。また、新たに12月補正予算のために蔵書の洗い出しを行い、不足しているジャンルや専門分野の本等、幅広い利用者を想定して選書を行うことができた。																		
<input checked="" type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	これまでの電子書籍の貸出傾向等を参考に、新規購入する電子書籍の選書を行った。また、新たに12月補正予算のために蔵書の洗い出しを行い、不足しているジャンルや専門分野の本等、幅広い利用者を想定して選書を行うことができた。																						
今後の方向性(令和3年度以降)	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> 非来館型サービスとして、電子図書館への需要は今後も増加すると思われるため、今後も引き続き蔵書を増やしながらか電子図書館を継続できるよう関係部局と調整を行う。 また、市内在住者の新規利用登録の簡素化を図るなど、利用者の利便性を高める。 </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <前年度における点検評価委員の意見等> 来館が困難な利用者に向けて電子図書館サービスの充実を図り、登録者が増えたことを評価する。電子図書館の利用は、今後さらに増加されると思われる。引き続きニーズに応じた選書と計画的な購入を行い、サービスの充実に努めていただきたい。 </td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	非来館型サービスとして、電子図書館への需要は今後も増加すると思われるため、今後も引き続き蔵書を増やしながらか電子図書館を継続できるよう関係部局と調整を行う。 また、市内在住者の新規利用登録の簡素化を図るなど、利用者の利便性を高める。	<前年度における点検評価委員の意見等> 来館が困難な利用者に向けて電子図書館サービスの充実を図り、登録者が増えたことを評価する。電子図書館の利用は、今後さらに増加されると思われる。引き続きニーズに応じた選書と計画的な購入を行い、サービスの充実に努めていただきたい。																	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	非来館型サービスとして、電子図書館への需要は今後も増加すると思われるため、今後も引き続き蔵書を増やしながらか電子図書館を継続できるよう関係部局と調整を行う。 また、市内在住者の新規利用登録の簡素化を図るなど、利用者の利便性を高める。	<前年度における点検評価委員の意見等> 来館が困難な利用者に向けて電子図書館サービスの充実を図り、登録者が増えたことを評価する。電子図書館の利用は、今後さらに増加されると思われる。引き続きニーズに応じた選書と計画的な購入を行い、サービスの充実に努めていただきたい。																					
点検評価委員の評価及び意見等	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善 </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> 来館が困難な方へのサービスとしての電子図書館が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としても活用されている。新しい生活様式としての市民ニーズを的確に把握し、電子書籍ライセンス数を大きく拡充させたことは、利用者数の大幅な増加につながったと高く評価する。利用者登録がスムーズにできるような配慮や、ライセンス数のさらなる充実を通じて、より多くの方が利用できるような取組を今後も期待する。 </td> </tr> </table>			<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	来館が困難な方へのサービスとしての電子図書館が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としても活用されている。新しい生活様式としての市民ニーズを的確に把握し、電子書籍ライセンス数を大きく拡充させたことは、利用者数の大幅な増加につながったと高く評価する。利用者登録がスムーズにできるような配慮や、ライセンス数のさらなる充実を通じて、より多くの方が利用できるような取組を今後も期待する。																		
<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	来館が困難な方へのサービスとしての電子図書館が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としても活用されている。新しい生活様式としての市民ニーズを的確に把握し、電子書籍ライセンス数を大きく拡充させたことは、利用者数の大幅な増加につながったと高く評価する。利用者登録がスムーズにできるような配慮や、ライセンス数のさらなる充実を通じて、より多くの方が利用できるような取組を今後も期待する。																						

シートNo.13【担当：庶務課】

事業名	防犯・防災設備の充実（うち新型コロナウイルス対策） <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">臨時</div>
内容	未曾有の災害とも形容される新型コロナウイルス感染症により生じた、学校の臨時休業や再開に伴う子どもたちの学習保障を行う。		
実施状況及び成果	<p>・家庭学習支援事業費（新型コロナウイルス対策） 国の「第15回新型コロナウイルス感染症対策本部（令和2年2月27日総理大臣官邸）」により、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日（月）から全国の学校が臨時休業となったことを踏まえ、市の独自施策として1人2,000円分の図書カードを配布することで、児童生徒の家庭学習を支援した。 [図書カード] 令和2年5月、市内在住の小中学生16,106人に配布 【決算額】 32,439千円</p> <p>・学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業費（新型コロナウイルス対策） 令和2年5月31日（日）までの臨時休業が終了し、学校を本格的に再開した。この学校再開に際して、国が補正予算を計上したことに併せ、新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら子どもたちの学習保障をするため、環境整備を行った。 [事業費] 令和2年7月、各校の規模に応じて、1,000千円/校、1,500千円/校、2,000千円/校を配当 【決算額】 56,855千円（小学校39,737千円、中学校17,118千円）</p>		
決算額	平成30年度 — 千円	令和元年度 — 千円	令和2年度 89,294千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	国の新型コロナウイルス感染症対策と併せて、子どもたちに対して2,000円分の図書カードを一律配布する市独自の家庭における学習支援を行った。未曾有の危機であり、現時点においてもその脅威にさらされているところであるが、引き続き実践的で徹底した施策を実施していく必要がある。	
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	国の新型コロナウイルス対策として「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」が追加補正された。本事業費については、令和2年度3月補正で繰越明許設定し、現在執行中である。新しい生活様式に沿った学校活動を円滑に行えるよう、各学校と協力しながら調整していく。	<前年度における点検評価委員の意見等>
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	想定外の事態に対し、子どもたちの学習支援を市の独自施策として行ったこと、また国の補助金を活用しながら、安全安心な学校環境づくりに努めたことを評価する。臨時休業による学習の遅れは全国一律のものとはいえ不安であるし、学校が再開した後も、マスク着用や黙食など学校生活が大きく変容した。子どもたちの変化を見守りながら、充実した学校生活を送ることができるよう引き続き努めていただきたい。	

シートNo.15【担当：庶務課】

事業名	学習環境の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	近年の猛暑対策として、空調設備設置を実施するとともに、老朽化が進む学校校舎や屋内運動場トイレの洋式化等改修を実施することにより、児童・生徒が快適で衛生的な学校生活が送れるようにする。		
実施状況及び成果	児童生徒の学習環境や衛生環境面の改善を実施した。 ・小中学校管理諸室空調設備改修事業／H30～ 令和2年度は、小学校3校（豊川小、千両小、代田小）で空調設備改修を実施した。 【決算額】 小学校 H30 10,604千円 R1 65,635千円 R2 43,362千円 中学校 H30 2,357千円 R1 19,895千円 R2 0千円 ※普通教室空調設備整備事業は、中学校H29、小学校H30、R1年度で整備完了。 ・小中学校トイレ改修事業（実）／H26～ 令和2年度は、小学校1校（三蔵子小）、中学校7校（東部中、南部中、中部中、西部中、代田中、一宮中、小坂井中）でトイレ改修を実施した。（繰越分） 【決算額】 小学校 H30 135,140千円 R1 165,810千円 R2 139,153千円 中学校 H30 0千円 R1 8,066千円 R2 330,611千円 ※洋式化率 H30 50.6%、R1 55.2%、R2 73.6%		
決算額	平成30年度 1,209,602千円	令和元年度 869,980千円	令和2年度 513,126千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	小学校1校、中学校7校でトイレ改修工事を実施し、次年度以降の大規模改修工事で改修予定の2校を除く小中学校校舎への整備は完了し、目標として掲げていた便器の洋式化率70%を達成することができた。 また、小学校3校で管理諸室空調設備改修工事を実施することができた。 コロナ禍での工事であり、また夏休み期間が短縮となるなど工事への影響もあったが、学校や業者とよく調整を行い、工程等を変更することで学校への影響を最小限に抑えることができた。	
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	トイレ改修事業については、令和3年度からは屋内運動場トイレ改修に向けての実設計画を実施する。屋内運動場のトイレは地域開放や災害時の避難所施設としても利用するため、衛生環境面の改善や生活環境の変化に対応するよう計画的に整備を行い、学習環境の改善を図る。管理諸室空調設備改修事業については、老朽化により故障している機器も多く早急な対応が必要なため、工事に必要な予算を確保していく。 <前年度における点検評価委員の意見等> 他市に比べ早い段階で空調設備の設置が完了したことを高く評価する。また、時代の流れや、環境の変化に応じ、トイレの洋式化など教育環境の改善が周到な準備により実施されていることを評価する。児童生徒にとって、学校が魅力あふれる場であるよう環境整備を更に進めていただきたい。	
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	学校生活を児童生徒や教師が快適に過ごせるように早い段階から空調整備がなされたことや、衛生面においてもトイレ改修等が計画的になされたことなど、学校環境改善が適切に進んでいる点を高く評価する。今後も子供たちが快適で魅力的な学校生活を送ることができるよう、さらなる環境改善に努めていただきたい。	

シートNo.16【担当：庶務課】

事業名	教育用 I C T 機器などの整備			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																														
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																	
内容	コンピュータ教室の機器の更新や教材ソフトの充実に取り組むことで、I C T 機器などを活用した教育環境の整備を進める。また、GIGA スクールの実現に向けた 1 人 1 台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する。																																	
実施状況及び成果	<p>学校のパソコン環境において、管理の効率化、障害に強い体制、高セキュリティを目的として導入している「シンククライアントシステム」について、環境維持と業務継続性を目的としたサーバの更新などを実施した。さらに、令和 2 年度は文部科学省の GIGA スクール事業による校内無線 LAN 整備、児童生徒 1 人 1 台端末の配備などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> シンククライアントに関する事業 <table border="0"> <tr> <td>パソコン等整備事業</td> <td>小学校</td> <td>19,721,900 円</td> <td>中学校</td> <td>15,368,100 円</td> </tr> <tr> <td>シンククライアントシステム業務委託</td> <td>小学校</td> <td>6,363,720 円</td> <td>中学校</td> <td>2,474,780 円</td> </tr> </table> 校内無線 LAN 整備 <table border="0"> <tr> <td>校内 LAN 整備委託</td> <td>小学校</td> <td>226,245,778 円</td> <td>中学校</td> <td>119,532,512 円</td> </tr> </table> 教育用コンピュータ機器等整備 <p>児童生徒 1 人 1 台配備を実現するため、小学校へ iPad を 8659 台・中学校に Windows 機 4159 台を配備した。教育用コンピュータの令和 2 年度末納入分は令和 3 年度に、小学校 2303 台・中学校 1127 台を繰越すことになった。さらに 3 月補正予算により児童生徒増加分や予備機の追加購入を進める。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>435,457,720 円</td> <td>中学校</td> <td>216,050,380 円</td> </tr> </table> オンライン学習機器 <p>カメラ内蔵 U S B スピーカーフォンを各校 1 台購入し、校内又は校外配信に活用する。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>858,000 円</td> <td>中学校</td> <td>330,000 円</td> </tr> </table> GIGA スクールサポーター事業 <p>GIGA スクールサポーター事業として、機器操作研修、マニュアルの作成、校内ネットワークの調査、購入端末への備品シール貼り付けなどの業務委託を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>3,183,169 円</td> <td>中学校</td> <td>1,308,615 円</td> </tr> </table> 				パソコン等整備事業	小学校	19,721,900 円	中学校	15,368,100 円	シンククライアントシステム業務委託	小学校	6,363,720 円	中学校	2,474,780 円	校内 LAN 整備委託	小学校	226,245,778 円	中学校	119,532,512 円		小学校	435,457,720 円	中学校	216,050,380 円		小学校	858,000 円	中学校	330,000 円		小学校	3,183,169 円	中学校	1,308,615 円
パソコン等整備事業	小学校	19,721,900 円	中学校	15,368,100 円																														
シンククライアントシステム業務委託	小学校	6,363,720 円	中学校	2,474,780 円																														
校内 LAN 整備委託	小学校	226,245,778 円	中学校	119,532,512 円																														
	小学校	435,457,720 円	中学校	216,050,380 円																														
	小学校	858,000 円	中学校	330,000 円																														
	小学校	3,183,169 円	中学校	1,308,615 円																														
決算額	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度																															
	小学校 33,853 千円 中学校 16,043 千円	小学校 42,414 千円 中学校 21,814 千円	小学校 691,831 千円 中学校 355,065 千円																															
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	<p>前年度はグループ学習用の ICT 機器整備を進める計画でモデル校 2 校への整備を進めたが、文部科学省の GIGA スクール構想により大きな軌道修正を行った。過去に例のない規模の機器整備事業であったが、納入は令和 3 年度の夏までにすべて完了する見込みである。</p> <p>シンククライアントシステムに関しては、老朽化サーバの入れ替えを行った。</p>																																
今後の方向性 (令和 3 年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>GIGA スクール事業による整備は令和 3 年度で完了する。今後は学校での機器の有効活用について考え、また、児童生徒が使う端末の管理をどのようにすべきかを検討する。</p>	<p><前年度における点検評価委員の意見等> 今後、I C T 機器の活用の際は、加速度的に拡大することが予想される。校内 LAN 整備や機器の導入に加えて、児童生徒、教職員の研修についても力を注いでいただきたい。</p>																															
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>ひとり 1 台端末の配備と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する国の G I G A スクール構想施策が、コロナ禍を受けて大きく前倒しされたが、その対応に適切に取り組まれたと評価する。今後は、その有効活用に向けた教職員のスキルアップが早急な課題である。I C T 機器を活用した授業のため、引き続き教育環境を整えとともに、機器の安全管理面も十分配慮いただきたい。また、学校環境が大きく変容することとなるが、その取組を広く周知し、各家庭等での理解を深めることも重要である。</p>																																

シートNo.17 【担当：スポーツ課】

事業名	体育施設の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	体育施設を安全で快適に利用できるよう整備を行い、利用者の利便性を高める。また、老朽化した施設の長寿命化を計画的に進めるとともに、防災拠点としての安全性の確保に取り組む。		
実施状況及び成果	施設修繕、営繕工事及び備品購入により、施設を充実させることで、利用促進を図ることができた。 【決算額】 <施設修繕料> 小坂井B&G海洋センター電動排煙換気窓開閉装置修繕 1,958千円 小坂井B&G海洋センター自動水質監視装置修繕 4,267千円 <委託料> ・豊川市公園街なか賑わい創出基盤整備事業（実） 豊川公園庭球場整備工事基本設計業務委託 11,208千円 豊川公園庭球場整備工事实施設計業務委託 22,541千円 <営繕工事費>・豊川市公園街なか賑わい創出基盤整備事業（実） 豊川市プール等解体撤去工事 270,479千円		
決算額	平成30年度 79,228千円	令和元年度 187,058千円	令和2年度 328,661千円
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった 総合計画実施計画事業である市プール等の解体撤去工事を計画どおりに実施し、豊川公園庭球場の整備に向けた基本設計、実施設計を作成することができ、新たなスポーツ環境整備の準備をすることができた。また、小坂井B&G海洋センター自動水質監視装置修繕など、体育施設利用者が継続して施設を良好な環境で利用できるように対応できた。		
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう施設の状況を的確に把握し、実情に応じた改修や修繕を進める。また、豊川公園庭球場の再整備を進める。	<前年度における点検評価委員の意見等> 「スポーツを楽しむ」利用者が、安全で快適に施設を利用できるよう修繕等を実施し、利便性を高められた点を評価する。市民にとってより身近な施設となるべく、利便性の追求のみならず、更なる安全安心の確保に努めていただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	各種計画に基づき、施設整備を着実に進められたこと、利用者の利便性を高める環境整備に取り組んだことを評価する。防災拠点としてより身近な施設となるべく取り組んでいただくとともに、今後も継続してスポーツが楽しめるよう、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じながら、安全安心に利用できる施設の環境整備に取り組んでいただきたい。	

シートNo.19【担当：中央図書館】

事業名	図書館施設などの整備 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	<p>老朽化している施設・設備の計画的な改修、新小坂井図書館の供用に向けた準備、ITを活用した先進的な機器や技術に関する調査研究等に取り組む。</p> <p>また、図書館を訪れなくても図書資料などの貸し出しや返却ができる配送サービスを継続するため、各サービスポイント（5か所）の関係部署や委託業者との連携を行う。</p>										
実施状況及び成果	<p>図書館の快適な環境の維持や利用者の安全性の向上のため、日常的な施設の維持管理に加え、1階多目的トイレのオストメイト対応への改修や4つの分館に新型コロナウイルス対策として書籍消毒器を設置した。また、老朽化により不具合が頻発している地下自動書庫の走行レール等の更新工事を行った。</p> <p>老朽化により不具合が発生している空調機器について、令和元年度に実施した基本設計に基づき、実施設計を行い、令和3年度からの更新工事の準備ができた。また、外壁等改修工事について、実施設計を行い、令和3年度からの改修工事の準備ができた。</p> <p>新小坂井図書館について、令和3年5月の開館に向けての準備ができた。</p> <p>【配送サービス：分館・公民館・蒲郡図書館】</p> <table border="1" data-bbox="316 817 1337 896"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配達冊数</td> <td>197,502 冊</td> <td>188,443 冊</td> <td>163,685 冊</td> </tr> </tbody> </table>				H30	R1	R2	配達冊数	197,502 冊	188,443 冊	163,685 冊
	H30	R1	R2								
配達冊数	197,502 冊	188,443 冊	163,685 冊								
決算額	平成30年度 313 千円	令和元年度 23,153 千円	令和2年度 70,437 千円								
自己評価	<input type="checkbox"/> (A) 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> (B) 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (C) 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> (D) あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> (E) 成果を上げられなかった	<p>空調設備取替工事の実施設計については、基本設計に基づき、利用者の利便性を考慮し、工事のために図書館をなるべく全面休館することのない施工方法で策定することができた。外壁改修等工事の実施設計については、開館しながらの工事であることを考慮し、騒音や振動などが抑えられる利用者に影響が少ない施工方法で策定することができた。</p> <p>地下自動書庫については高額な部品が多く、耐用年数を過ぎていた部品も数多くあり、限られた予算の中では優先度の高いものみの修繕に留まったため、依然として、別の箇所の故障がある。全体の故障回数の減少につながったとは言い切れない部分があるため、計画的な修繕が必要となっている。</p>									
今後の方向性 (令和3年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>空調設備取替工事及び外壁等改修工事について、両者とも実施設計に基づき、関係各課や施工業者と協議を密に行い、工事が順調に実施できるようにする。</p> <p>地下自動書庫については、毎年、多額の予算が必要となっており、数年後には機材の調達ができなくなることから、地下自動書庫の全面改修を含め、有り方の検討を行う。</p>	<p><前年度における点検評価委員の意見等></p> <p>利用者の利便性を高め、より良い読書環境を整えるべく、コスト意識をもって中長期的修繕計画を立てられたことを評価する。地下自動書庫については、応急処置の対応に終始せざるを得ない状況が伺え、抜本的な取組が必要と考える。新小坂井図書館は、誇り・魅力ある施設となるべく大きく期待している。</p>								
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>市民ニーズに応え、配送サービスの充実等に努めた点や、騒音対策等利用者に配慮した工事の実施設計を策定し、翌年度からの工事に向けた準備をされた点、また感染症対策として書籍消毒器の設置等、利用者へ寄り添った環境整備を評価する。課題でもある地下自動書庫については、コスト意識を持って、十分に検討いただきたい。</p>									

IV 目標指標の状況

第2期豊川市教育振興基本計画では、関係する数値を捉えた目標指標を施策ごとに設定し、計画期間前の実績値を基準としながら、計画期間の最終段階における目標値を定めています。

この目標値に対する達成度について、毎年度実施する点検・評価における一つの参考として改善に生かしながら、各施策の効果を高めていくことを目指しています。

基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

施策	目標指標の内容	計画期間前 の実績値	平成30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和2 年度 評価時	令和3 年度 評価時	令和4 年度 評価時	目標値	
① 家庭教育・子育ての支援	「子どもを生み、育てる環境」市民満足度 市民意識調査の「子どもを生み、育てる環境」に関する満足度の問いについて、「満足」「まあ満足」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元 年値	—		令和3 年値	
		44.0%	47.7%	—	48.3%	—		53.0%	
② 道徳教育の充実	学校生活が楽しく充実していたと自己評価した児童生徒の割合 小学校5年生と中学校2年生を対象とする調査で、児童生徒が「生活面」について5段階で自己評価し、総合評価で4以上とした児童生徒の割合。〔学校教育課アンケートより〕	平成27年 値	平成30年 値	平成31年 値	令和2 年値	令和3 年値		令和3 年値	
③ 人権教育の推進		64.2%	75.3%	73.4%	74.4%	75.9%	72.0%		
④ いじめ・不登校などへの対応									
⑤ 学校における体験活動の充実									
⑥ 読書活動の推進	「読書好き」な子どもの割合 小学校4～6年生と中学校全学年、高校全学年を対象とする調査で、「とても好き」「好き」と答えた児童生徒の割合。〔中央図書館アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—	令和2 年値		令和2 年値	
⑦ 子どもの体づくりの推進	運動が好きな児童生徒の割合 小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「運動をすることが好きですか」の問いについて、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—	令和2 年値		令和2 年値	
		小学	67.9%	—	—	—	63.1%		70.4%
		中学	64.6%	—	—	—	60.8%		67.1%
	朝食を食べない児童生徒の割合 小学校5年生と中学校2年生を対象とする食事と生活に関するアンケート調査の「朝食を食べているか」の問いについて、「食べない」「あまり食べない」と答えた児童生徒の割合。〔学校給食課アンケートより〕	平成28年 値	平成29年 値	平成30年 値	令和元 年値	令和2 年値		令和3 年値	
		小学	2.6%	1.9%	2.7%	2.1%	2.4%		0.0%
中学	4.5%	5.4%	6.3%	8.9%	5.7%		0.0%		
⑧ 文化遺産の継承と新たな文化の創造	文化財保護の推進に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「文化財保護の推進（地域の伝統継承事業の支援など）」に関する満足度の問いについて、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—	令和2 年値		令和2 年値	
		32.5%	—	—	—	27.3%		35.0%	

基本目標2 社会の変化に応える確かな学力を育成します

施策	目標指標の内容	計画期間 前 の実績値	平成30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和2 年度 評価時	令和3 年度 評価時	令和4 年度 評価時	目標値	
① 楽しくわかる授業の実践	学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童生徒の割合 小学校5年生と中学校2年生を対象とする調査で、児童生徒が「学習面」について5段階で自己評価し、総合評価で4以上とした児童生徒の割合。〔学校教育課アンケートより〕	平成27年度値	平成30年度値	平成31年度値	令和2年度値	令和3年度値		令和3年度値	
		50.9%	59.3%	56.2%	59.3%	60.0%		59.0%	
② 英語教育の推進	外国語（英語ほか）を好きな児童生徒の割合 小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「好きな教科」に関する問いについて、「外国語（英語ほか）」を選んだ児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年度値	—	—	—	令和2年度値		令和2年度値	
		小6	31.8%	—	—	—	23.8%		34.3%
		中2	20.6%	—	—	—	17.6%		23.1%
③ 理数教育の推進	理科、算数（数学）を好きな児童生徒の割合 小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「好きな教科」に関する問いについて、「理科」「算数（数学）」を選んだ児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年度値	—	—	—	令和2年度値		令和2年度値	
		理科							
		小6	37.7%	—	—	—	36.6%		40.2%
		中2	38.5%	—	—	—	29.0%		41.0%
		算数（数学）							
		小6	40.0%	—	—	—	40.2%		42.5%
中2	22.5%	—	—	—	22.2%		25.0%		
④ 情報教育の充実	コンピュータ等の情報通信技術を活用した学習指導を実施する学校の割合 全国学力・学習状況調査の学校質問紙の「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか」の問いについて、「よく行った」「どちらかと言えば行った」を選んだ小中学校の割合。〔全国学力・学習状況調査より〕	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	—	令和2年度値		令和2年度値	
		小学	50.0%	76.9%	84.6%	—	—		70.0%
		中学	50.0%	30.0%	90.0%	—	—		70.0%
⑤ 環境教育・ESDの推進	ESDの視点に立った学習活動に取り組む学校の割合 社会科や理科などの学習において、ESDの視点を取り入れた学習活動を行った小中学校の割合。〔学校教育課調査より〕	平成27年度値	平成29年度値	—	—	令和2年度値		令和2年度値	
		小学	46.2%	92.3%	—	—	100.0%		66.2%
		中学	40.0%	90.0%	—	—	100.0%		60.0%
⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実	日本語指導助手の人数 小中学校において、日本語指導が必要な児童生徒の日本語指導や教科指導の補助などを行う日本語指導助手の数。〔学校教育課実績より〕	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値	令和2年度値		令和2年度値	
		10人	10人	10人	10人	11人		10人	
⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実	学級運営支援員の人数 小中学校において、安定した学級運営を支えるために配置する学級運営支援員の数。〔学校教育課実績より〕	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値	令和2年度値		令和2年度値	
		53人	64人	69人	74人	79人		64人	
⑧ 進路指導の充実	将来つきたい職業がある児童生徒の割合 小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「将来つきたい職業」に関する問いについて、つきたい職業が「ある」「何となくある」と答えた児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年度値	—	—	—	令和2年度値		令和2年度値	
		小6	84.3%	—	—	—	82.7%		86.8%
		中2	74.2%	—	—	—	72.4%		76.7%
⑨ 教職員のさらなる資質の向上	各種研修に参加した教職員数 経験年数や課題、希望に応じて指導力、授業力、使命感などを高める各種研修に参加した教職員の人数。〔学校教育課実績より〕	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値	令和2年度値		令和2年度値	
		約1,100人	約1,600人	約1,700人	約1,700人	約500人		約1,200人	

基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します

施策	目標指標の内容	計画期間 前の 実績値	平成30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和2 年度 評価時	令和3 年度 評価時	令和4 年度 評価時	目標値
① 生涯学習 の振興	生涯学習活動を行っている市民の割合 市民意識調査で何らかの生涯学習活動を行っていると答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値	—		令和3年 値
		60.5%	58.2%	—	58.8%	—		63.0%
	プラネタリウムの入場者数 ジオスペース館のプラネタリウムに入場した年間延べ人数。〔中央図書館実績より〕	平成27年 度値	平成29年 度値	平成30年 度値	令和元年 度値	令和2年 度値		令和2年度 値
		10,829人	12,675人	12,698人	10,307人	5,000人		11,840人
② 生涯の健康を支える力の育成	定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている市民の割合 市民意識調査の「健康維持や増進のための心掛け」に関する問いについて、「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値	—		令和3年 値
		46.9%	46.9%	—	49.3%	—		48.0%
③ 生涯スポーツの振興	週1日以上スポーツや運動をしている市民の割合 市民意識調査の「スポーツや運動の頻度」について、「毎日」「週3～4日程度」「週1～2日程度」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値	—		令和3年 値
		41.6%	39.5%	—	44.4%	—		54.0%
④ 図書館サービスの充実	市民1人当たりの図書等貸出冊数 年間の図書等貸出冊数を10月1日現在の推計人口で割って算出した冊数。読書に親しむ市民が増えることを目指す指標です。〔中央図書館実績より〕	平成27年 度値	平成29年 度値	平成30年 度値	令和元年 度値	令和2年 度値		令和2年度 値
		7.0冊	6.9冊	6.8冊	6.1冊	5.0冊		10.0冊

基本目標 4 魅力ある教育環境づくりを進めます

施策	目標指標の内容	計画期間 前の 実績値	平成 30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和 2 年度 評価時	令和 3 年度 評価時	令和 4 年度 評価時	目標値
① 児童生徒の安全・安心の確保	児童生徒の安全・安心の確保に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「児童生徒の安全・安心の確保」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成 27 年 値	—	—	—	令和 2 年 値		令和 2 年 値
		47.0%	—	—	—	44.6%		49.5%
	給食の残食率 全小中学校を対象に実施している調査で、提供したおかずの全体量に対する残食の割合。〔学校給食課実績より〕	平成 27 年 値	平成 29 年 値	平成 30 年 値	令和元年 値	令和 2 年 値		令和 2 年 値
		2.5%	2.2%	2.0%	3.6%	3.1%		2.3%
② 開かれた学校づくりを目指す教育活動	「学校とかかわりを持っていきたい」と思っている市民の割合 市民意識調査で「学校とかかわり」について、「積極的にかかわりを持っていきたい」「どちらかといえばかかわりを持っていきたい」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成 27 年 値	平成 29 年 値	—	令和元年 値	—		令和 3 年 値
		53.9%	49.8%	—	49.3%	—		56.0%
	学校サポーター登録者数 小中学校の草刈や施設修繕、総合学習、部活動指導などをボランティアで支援する学校サポーターの登録者数。〔庶務課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
		576 人	691 人	638 人	667 人	699 人		600 人
③ 学校教育環境の整備	学校教育環境などの整備・充実に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「学校教育環境などの整備・充実」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成 27 年 値	—	—	—	令和 2 年 値		令和 2 年 値
		28.5%	—	—	—	31.5%		31.0%
	学校トイレの洋式化率と普通教室の空調設備整備率 小中学校校舎において、洋式化されたトイレの割合と、空調設備が整備された普通教室の割合。〔庶務課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
	トイレ洋式化率							
		32.3%	46.7%	50.6%	55.2%	73.6%		70.0%
空調設備整備率								
	0.0%	33.3%	66.6%	100.0%	100.0%		100.0%	
④ 地域教育力の向上支援	「青少年の育成・支援」市民満足度 市民意識調査の「青少年の育成・支援」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「まあ満足」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成 27 年 値	平成 29 年 値	—	令和元年 値	—		令和 3 年 値
		28.1%	31.9%	—	31.9%	—		34.0%
	少年愛護センターにおける相談支援件数 少年愛護センターにおける一般相談件数と心理相談件数の合計。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
	321 件	249 件	206 件	292 件	204 件		350 件	
⑤ スポーツ環境の整備	体育施設の利用者数 市体育施設の年間延べ利用者数。〔スポーツ課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
		1,340,950 人	1,292,764 人	1,213,118 人	1,176,133 人	681,593 人		1,390,000 人
	学校体育施設開放の利用者数 小中学校の体育施設開放における年間延べ利用者数。〔スポーツ課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
	405,864 人	397,081 人	387,729 人	392,486 人	251,815 人		430,000 人	
⑥ 生涯学習環境の整備	生涯学習会館の利用者数 市内 5 館の年間延べ利用者数。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
		151,446 人	150,166 人	149,472 人	149,860 人	75,821 人		155,000 人
	公民館の利用者数 市内 4 館の年間延べ利用者数。公民館が多く市民に有効活用されることを目指す指標です。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
	87,999 人	85,189 人	99,331 人	93,683 人	60,328 人		90,000 人	
⑦ 読書環境の充実	図書館の来館者数 図書館の年間延べ来館者数。〔中央図書館実績より〕	平成 27 年 度値	平成 29 年 度値	平成 30 年 度値	令和元年 度値	令和 2 年 度値		令和 2 年 度値
		637,974 人	660,487 人	678,341 人	619,269 人	414,510 人		650,000 人

V 参考資料

1 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和2年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。

4月定例会（令和2年4月21日開催）

議案	1 教職員の任用について
報告	1 令和元年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和2年度の組織目標について 2 令和2年3月定例市議会における教育問題について

5月定例会（令和2年5月15日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 豊川市社会教育委員の委嘱について 3 令和2年度6月補正予算について
報告	1 令和2年度5月補正予算について（専決処分） 2 監査委員指摘事項及び措置状況等について

6月定例会（令和2年6月23日開催）

議案	1 教職員の任用について
報告	1 令和2年度6月補正予算について（専決処分）

7月定例会（令和2年7月22日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和3年度使用教科用図書の採択について
報告	1 令和2年度7月補正予算について（専決処分） 2 令和元年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について 3 令和3年豊川市新成人祝賀会について

8月定例会（令和2年8月18日開催）

議案	1 令和元年度教育委員会決算について 2 令和2年度9月補正予算について 3 教職員の任用について
報告	1 監査委員指摘事項及び措置状況等について

9月定例会（令和2年9月23日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和3年度教職員定期人事異動方針について
報告	1 令和2年9月定例市議会における教育問題について

10月定例会（令和2年10月20日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和元年度教育委員会事務の点検・評価報告書について
報告	1 豊川市図書館基本計画改定に伴う市民アンケート等の実施について

11月定例会（令和2年11月17日開催）

議案	1 令和2年度12月補正予算について 2 豊川市生涯学習センター条例の制定について 3 教育委員会が所管する公の施設に係る指定管理者の指定について 4 教職員の任用について
報告	1 令和3年度教育委員会予算見積書について

12月定例会（令和2年12月23日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 豊川市生涯学習センター管理規則の制定について
報告	1 令和2年12月定例会市議会における教育問題について 2 令和3年度小中学校入学式・始業式の日程について

1月定例会（令和3年1月14日開催）

議案	1 教職員の任用について
報告	1 監査委員指摘事項及び措置状況等について

2月定例会（令和3年2月16日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和3年度教育委員会の予算概要及び主要事業について 3 令和2年度3月補正予算について 4 豊川市図書館条例の一部改正について 5 豊川市立学校の学校職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について 6 社会教育審議会への諮問事項について
報告	1 豊川市体育施設長寿命化・適正配置計画の策定について 2 豊川市の未来を拓く教育推進懇談会の調査・研究報告「小規模校の課題解決に向けた取組の検討報告書」について 3 豊川市図書館基本計画改定に伴う市民アンケート等の集計結果について

3月臨時会（令和2年3月12日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和3年度教職員の人事異動について 3 教育職員における一年単位の変形労働時間制について
----	---

3月定例会（令和3年3月19日開催）

議 案	1	令和2年度3月補正予算について
	2	豊川市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	3	豊川市教育委員会公印規則の一部改正について
	4	豊川市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	5	豊川市文化財保護条例施行規則の一部改正について
	6	豊川市社会教育審議会の答申について
	7	第3次豊川市生涯学習推進計画改定版（案）について
	8	令和3年度における豊川市図書館の休館日等について
	9	令和3年度教育委員会職員の人事異動について

2 第2期豊川市教育振興基本計画（概要版）

第2期 豊川市教育振興基本計画（概要版） （平成29年度～平成33年度）

基本理念 ともに学び 生きる力を育み 未来を拓く豊川の人づくり

「ともに学び」は、人々が生涯にわたり、家庭や地域、学校といったそれぞれの場で隔わり合い、互いの人格を尊重しながら幅広い知識や考え方を学び合う主体的な活動と、それを支える教育のあり方を示しています。

「生きる力を育み」は、人々が社会の変化に対応しながらたくましく生きていくための豊かな人間性、社会性を育む主体的な活動と、それを支える教育のあり方を示しています。

そして、「未来を拓く豊川の人づくり」は、人々がともに学び、生きる力を育む中で、生きる喜びを感じながら支え合って生きていく明るい「未来（社会）を（切り）拓く人」を育成するという、豊川市の教育が目指す方向性を示しています。

自分と他者を大切にすること

命をしっかりと支え、心と体を大切に、未来に向かう自分の人生を大切にすること。また、共生社会の一員として他者の存在や個性を大切にするとともに、自己の成長を大切に目指します。

粘り強く挑戦すること

社会の発展を支えてきた先人の努力や精神を受け継ぎながら、自ら進んで、様々なことに粘り強く挑戦する人の育成を目指します。

基本理念で目指す人間像

生涯にわたって学び続ける人

豊かな自然に囲まれ、歴史と文化が息づく豊川市の恵まれた環境の中で、生涯にわたって健康づくりに動みながら、自分の成長を信じて学び続ける人の育成を目指します。

基本理念を実現するための基本目標

- 基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します
- 基本目標2 社会の変化に応える確かな学力を育成します
- 基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します
- 基本目標4 魅力ある教育環境づくりを進めます

1 計画策定の趣意

日本の社会情勢は、少子高齢化の進行や人口減少、高度情報化や社会経済のグローバル化の進展などを受け、大きく変動を続けています。教育を取り巻く環境においては、子どもの体力づくりやいじめ・不登校の問題など、従前からの課題に加え、スマートフォン等の急速な普及に対応するための情報モラル教育、経済的な困難を抱える家庭の子どもへの対応など、新たな課題を踏まえた取組が求められています。

今後とも社会の動きは常に変化することが想定される中、教育分野の課題やニーズに対応していくため、総合的な施策の展開が一層重要となっています。

そこで、今後の教育行政の方向性を家庭や地域、学校、行政が共有し、一体となって豊川の人づくりを推進していくための新たな指針として、「第2期豊川市教育振興基本計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

この計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画であり、第6次豊川市総合計画を上位計画とし、各種計画と連携する教育分野の総合的な計画です。

3 計画の期間

この計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5か年とし、未来を見据えた人づくりを進めていきます。

4 施策の展開にあたっての視点

基本目標に基づき施策を効果的に展開していくにあたり、必要と捉える視点を示します。

- (1) 家庭、地域、学校、行政の役割と連携
- (2) 各行政機関の連携
- (3) 質の高い教育の実現に向けた人材・財源の効果的な投入
- (4) 教育施設の適正な管理

5 計画の進行管理

計画の進行管理として、計画（Plan）→実施（Do）→点検・評価（Check）→改善（Action）のPDCAサイクルにより、点検・評価の結果と改善すべき内容を反映しながら、各施策の取組を進めていきます。



豊川市教育委員会
〒441-0292 愛知県豊川市赤坂町松本250番地
電話：0533-88-8032 F A X：0533-88-8038
E-mail：kyoikushomu@city.toyokawa.lg.jp

**令和2年度
教育委員会事務の点検・評価報告書**

発行：令和3年10月

編集：豊川市教育委員会

〒441-0292

豊川市赤坂町松本250番地

TEL：0533-88-8032

FAX：0533-88-8038